

算数

第4学年

育成を目指す資質・能力

【思考力・判断力・表現力】【協働・合意形成意欲】

「田植えをしよう」(折れ線グラフ)

【単元の概要】

総合的な学習の時間に「たくさん」、「おいしい」お米を作る方法について学習しています。算数の「折れ線グラフ」の学習を通して、気温の変化等を考察することで、総合的な学習の時間での学習の更なる追究を進めていきます。

◆単元の目標

折れ線グラフの特徴を理解し、折れ線グラフを読んだりかいたりすることができる。折れ線グラフに表すよさを実感して進んで折れ線グラフに表したり、身の回りにある折れ線グラフを活用して、変化の様子がよく分かるグラフにつくり変えるための方法を考えたり、変化の特徴を傾きから考えたりすることができる。

◆単元の計画（全5時間）

【課題の設定（配当時間外）】総合的な学習の時間

・児童は総合的な学習の時間で田植えに取り組んでいる。田植えを地域の田で経験するとともに、自分の稲をバケツに植えて育て始めたところである。児童は、「たくさん」、「おいしい」お米を取るにはどうしたらよいか考え、地域の方から聞き取ったり、調べたりする中で、一日の中で地域の人がどのような時間帯にどんな仕事をさせておられるのか児童は興味を抱いているところである。

【情報の収集・整理分析（3時間）】

・理科で学習した1日の気温の変化を表した折れ線グラフから、折れ線グラフは伴って変わる二つの数量の変化の様子を表すことができることを理解する。
・田植えをした地域の気温の変化を整理した表を各自で折れ線グラフに表す。
・前時でかいた各自の折れ線グラフを周りの友達と比較し、同じ表から折れ線グラフに表しているのに違って見える理由を説明する。

【まとめ・表現（1時間）】

・実際にかき直したグラフと元のグラフを比較し、どのようにかき直したのか説明することを通して、適切な一目盛りの大きさを設定することで変化の様子をはっきりと示すことができることに気付く。

【まとめ・振り返り（1時間）】

・田植えをした地域の1日の気温の変化の特徴を読み取り、地域の人々の1日の時間の使い方との関連について考える。
・この単元の学習内容や方法について振り返ることを通して、折れ線グラフの有用性を実感したり、進んで生活や学習に生かそうとしたりする。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
社会	4	「エコ技 IPPON グランプリ！」(命とくらしをささえる水)
	5	「住むならどこに？暮らしのおすすめガイドを作ろう！」(さまざまな土地のくらし)
	6	「三和小版！当時の行い&ツッコミすごろくを作ろう！」(貴族の政治とくらし)
算数	1	「あきまつりをひらこう」(たしざん②)
	2	「エコキャップアート大作戦」(かけ算②)
	3	「計算好きなナマズ大王をたおせ！」(1けたをかけるかけ算の筆算)
		「神石高原ふるさとセットを作ろう」(重さ)
		「学習発表会を成功させよう！」(あまりのあるわり算)
	4	「どんな商品が売れるのかな？」(調べ方と整理の仕方)
	5	「かるた大会をしよう！」(式と計算)
「なんでもランキング！」(単分量あたりの大きさ)		
6	「駅伝チームの実力を分析しよう！」(資料の調べ方)	
生活	1	「にこにこいっぱいだいさくせん！」
総合的な学習の時間	3	「ふるさとを探検しよう！」
	4	「Let's go 米作り」
	5	「日本ミツバチを育てよう！」
	6	「神石牛を有名にしよう」